シン・所 長 の 部 屋

「衛生研究所」　について

2026年2月

～衛生研究所では、なにをしているのだろうか？～

その３

福島県　衛生研究所

Fukushima Prefectural Institute for Public Health

「衛生研究所」では、何をしているのだろうか？

の　第三弾　です。

前回から、

衛生研究所　理化学課の

検査・調査研究業務について、

具体的な解説をしています。

今回も前回と同様に、

理化学課の検査・調査研究

⇒　理化学課では、どんな検査、調査をしているのか？

についての三回目です。

理化学課の検査

今回はこれ

食品薬品

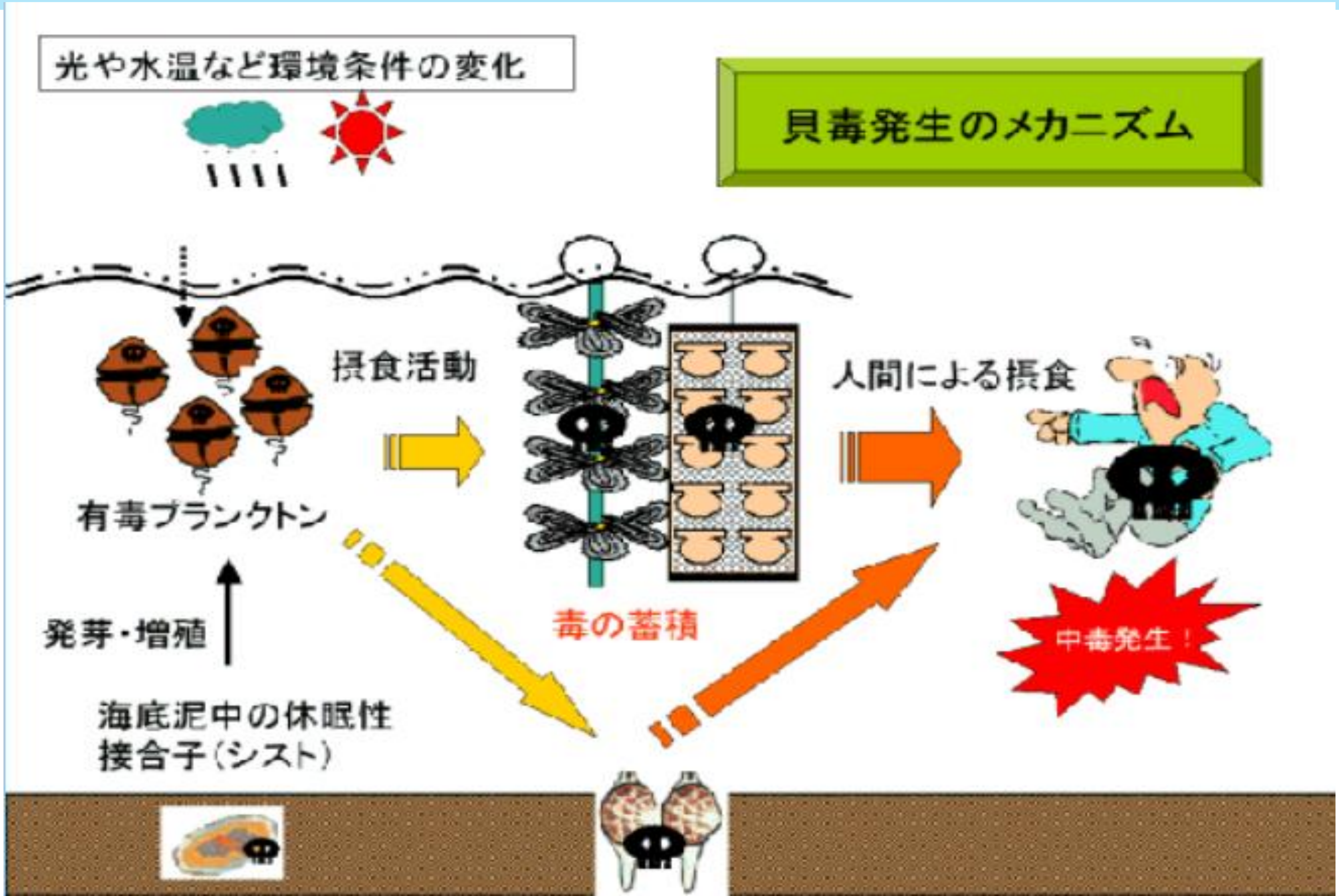
1．食品中の残留農薬検査
2．畜水産食品中の抗生物質等モニタリング検査
3．流通米のカドミウム含有量検査
4．食品添加物(防かび剤)の検査
5．貝毒の検査
6．医薬品含有(疑)健康食品検査
7．加工食品の放射性物質検査

生活科学

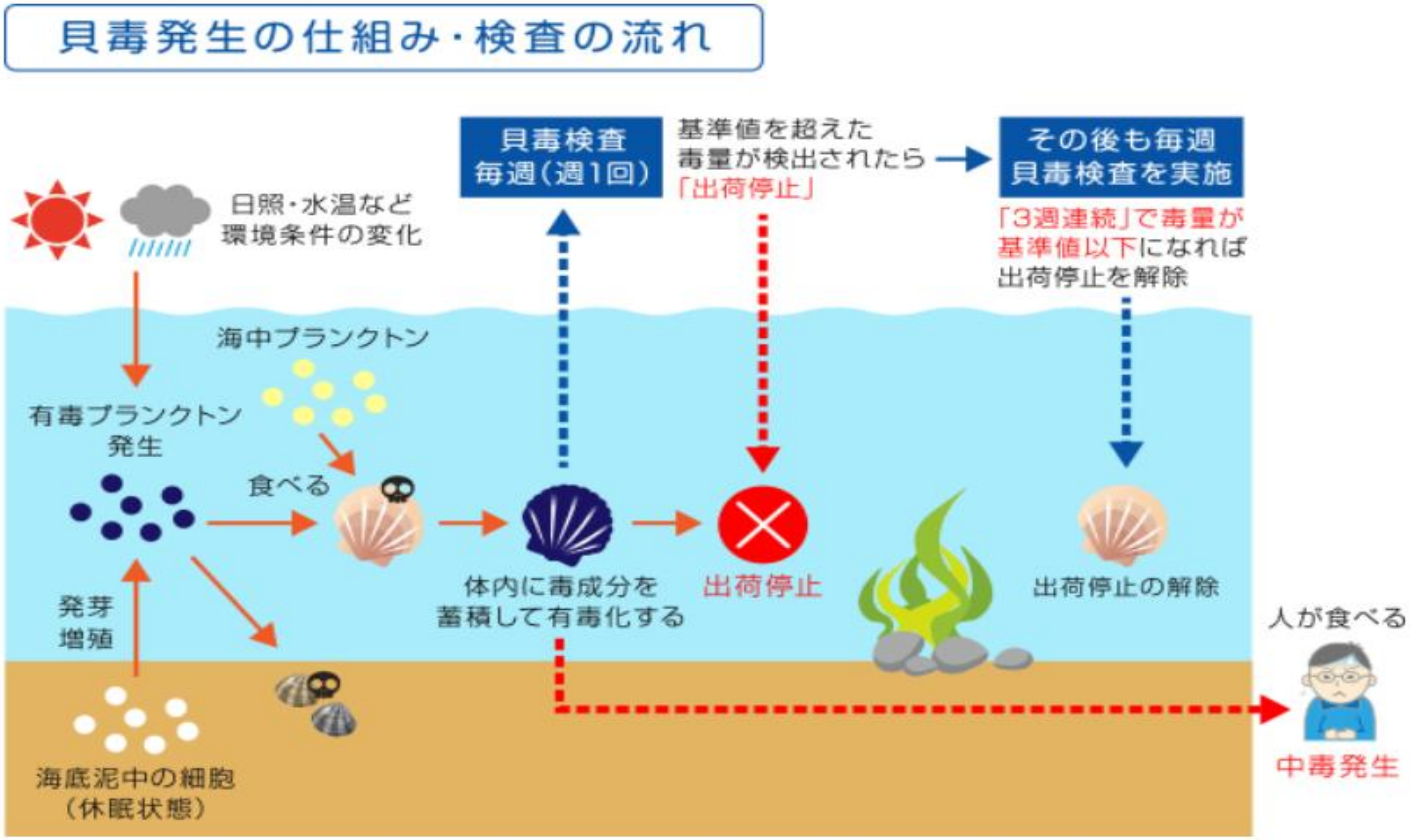
1．レジオネラ属菌検査
2．遺伝子組換え食品の検査
3．家庭用品試買品の検査
4．普通公衆浴場の水質検査
5．県有施設の水質検査
6．飲料水の放射性物質モニタリング検査
7．清涼飲料水の検査

貝毒について

（独）水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所
赤潮環境部　有毒プランクトン研究室　ホームページより



貝毒について



山内鮮魚店　Ｈｐより

貝毒（ホタテ、アサリ）の検査

市場流通品
　店舗
　市場
　製造所

検査品 →　← 違反時 回収命令等

保健所
　収去
※食品を検査のために採取

検査品 →　← 成績書

衛生研究所
麻痺性貝毒
下痢性貝毒　の検査

・**麻痺性貝毒**　**マウスアッセイ法**

・**下痢性貝毒**　**LC/MS/MSによる機器分析**

医薬品検査

後発医薬品品質確保事業

後発医薬品の信頼性を高め、
品質確保を図るため、
流通品の溶出試験等を行う

溶出試験器

経口製剤からの主成分の溶出を試験

医薬品含有（疑）健康食品の検査

無承認無許可医薬品等含有の疑いのある
強壮・痩身目的等の健康食品の検査を行う

加工食品の放射性物質検査

○目的

　食品衛生法の基準値等を超過した加工食品の流通の未然防止と食品の安全確保を図るため、県内で製造・加工された加工食品等について、衛生研究所で検査実施

◇検査対象食品

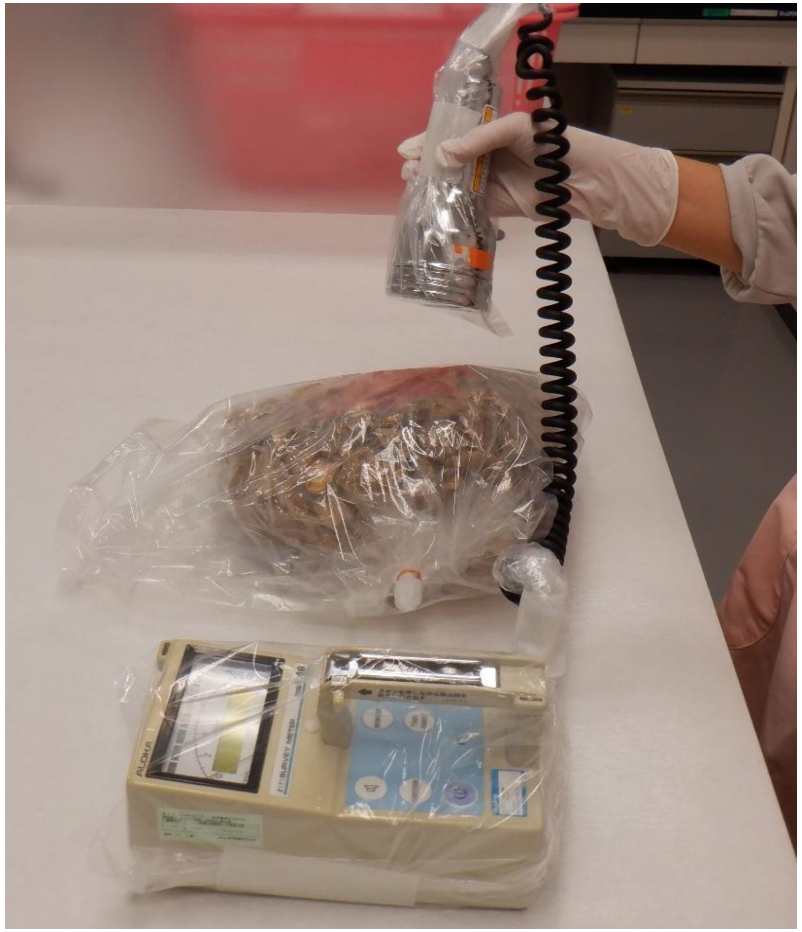
・山菜・きのこの加工品（乾燥きのこ、山菜水煮等）
・野菜・果実加工品（乾燥野菜、漬物類、乾燥果実等）
・乾燥茶葉、野草茶、野菜茶
・魚介類加工品（魚介類加工品、海藻加工品等）
・乾燥穀類、もち類
・凍み豆腐、凍み餅等
・ミネラルウォーター類、牛乳類

加工食品の放射性物質検査結果（あんぽ柿・干し柿の試験的加工品を除く）

年度	件数	超過数	最高値
平成２３年度	**１，１５４**	**３０**	**乾しいたけ（４，９００Bq/kg）**
平成２４年度	**３，８６９**	**７**	**梅干（２５０Bq/kg）**
平成２５年度	４，２３９	４	**乾しいたけ（２５０Bq/kg）**
平成２６年度	３，６０９	１	**大豆かす（１１０Bq/kg）**
平成２７年度	３，７３８	０	－
平成２８年度	３，６１４	０	－
平成２９年度	３，０４９	０	－
平成３０年度	２，５０４	１	**栃餅（１３０Bq/kg）**
令和元年度	１，２８９	０	－
令和２年度	１，０６４	０	－
令和３年度	８０２	４	**蜂蜜（１６０Bq/kg）**
令和４年度	７５１	０	－
令和５年度	５０３	０	－
令和６年度	４３１	０	－

平成２３年度の基準値は暫定規制値　５００Bq/kg

加工食品の放射性物質検査（食品中のセシウム検査法）



試験品受付

外部放射能スクリーニング

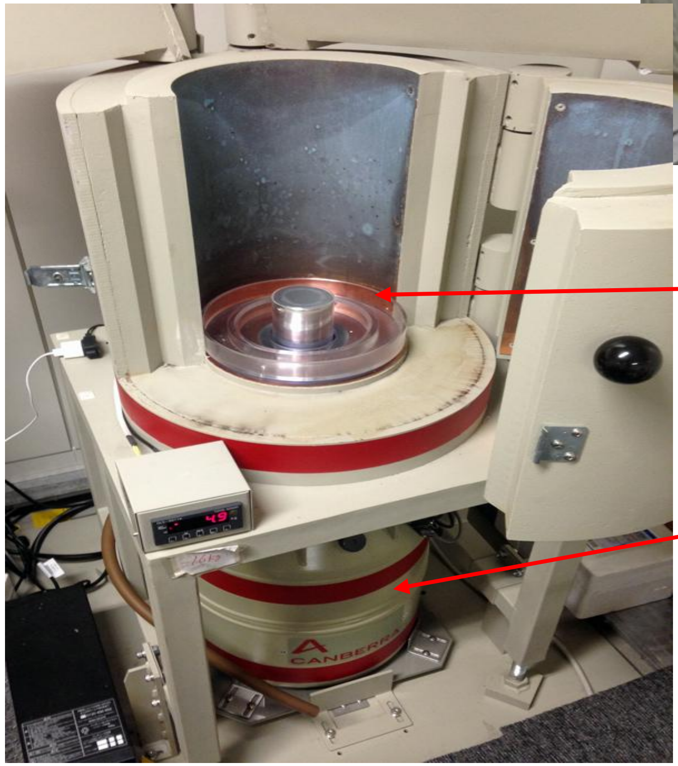
細切

加工食品の放射性物質検査（食品中のセシウム検査法）

加工食品の前処理例

加工食品の放射性物質検査（食品中のセシウム検査法）

重量・試料高さ計測



検出部

液体窒素

ゲルマニウム半導体検出器

最近の感染症発生動向について

＜２月第８週　までの調査結果での特徴＞

・**インフルエンザは、B型で全国的に警報レベル、**
　県内はピークアウトし、減少傾向
・**新型コロナ**は、ほぼ横ばい状況
・**ノロウイルス**による胃腸炎は**全国的に増加**
　県内でも増加傾向
・国内で**麻しんの発生**が続いている

現在のところ、世界的なパンデミックになりそうな感染症の予兆はない。
・**アメリカ合衆国で、鳥インフルエンザの人への感染が判明**
　⇒　A型(H5N5)、死亡例で、鳥飼育者
・**エチオピアで、マールブルグ熱が発生⇒エボラ出血熱と同じ1類感染症**
・**インド西ベンガル州でニパウイルス感染症発生**